

1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施



東京大学地震研究所

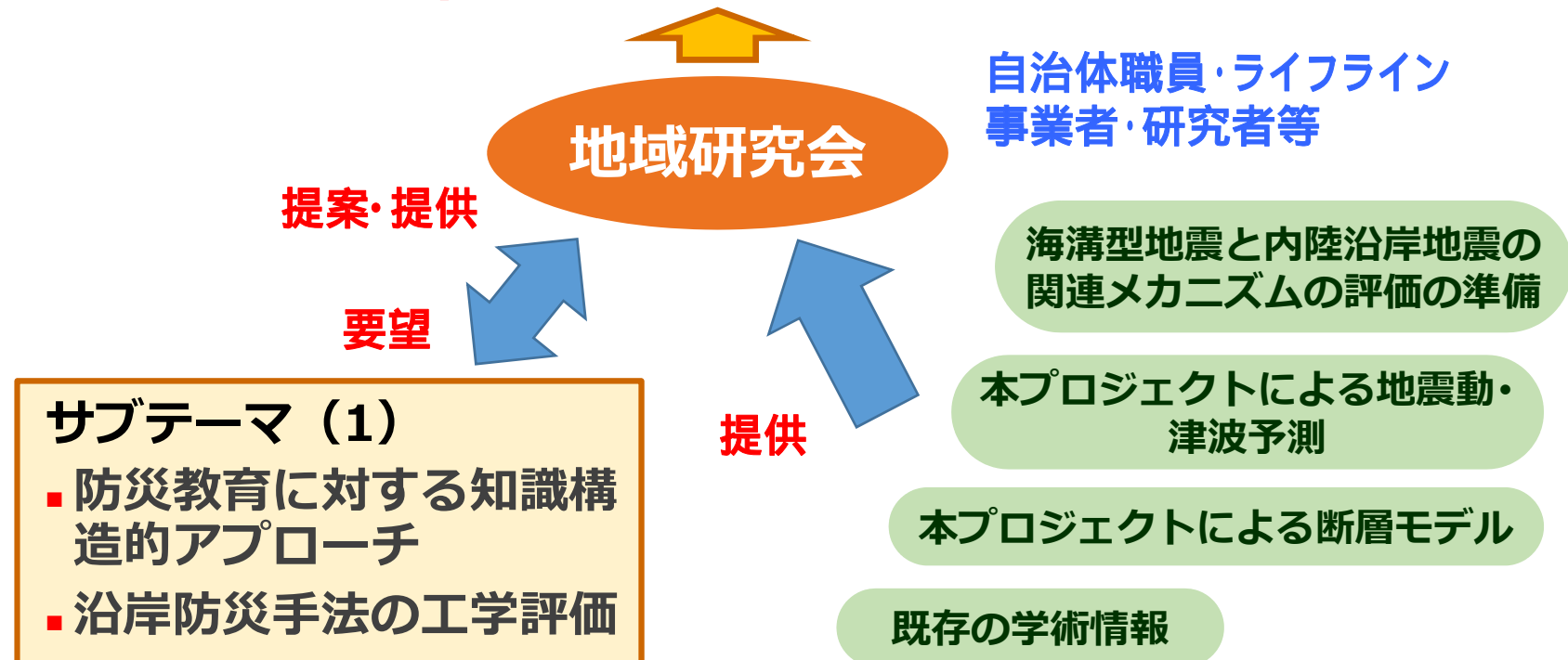
地域研究会の目的・概要



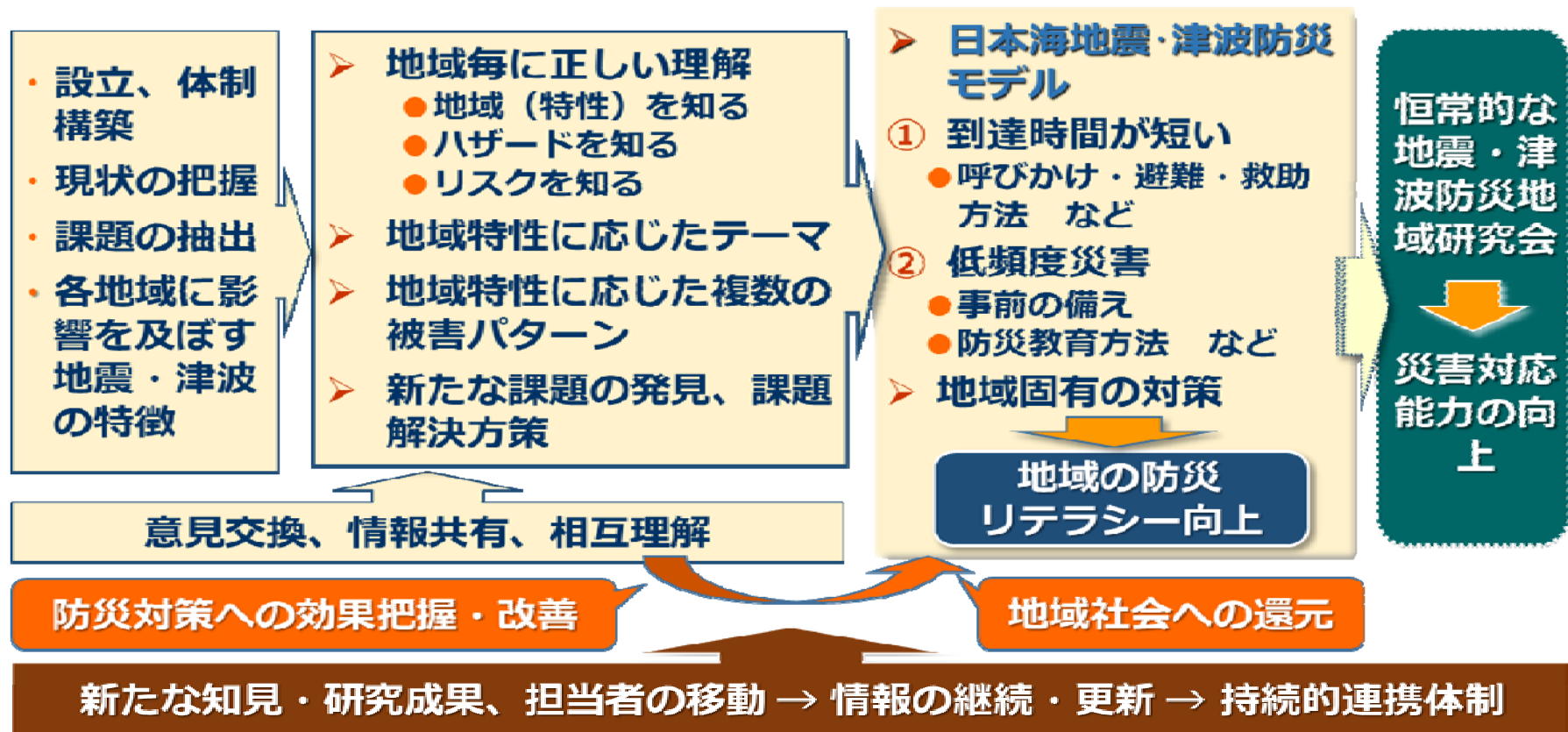
目 的

- 本プロジェクトの研究成果と既存の学術情報（自然科学・社会科学）を提供・共有、地域ごとに異なる諸状況に合った地域防災リテラシーの向上と地域への還元
- 恒常的な地震・津波防災地域研究会を構築

地域防災のリテラシー向上



地域研究会のフレームワーク



● 持続的連携体制（枠組み）の構築



地域研究会の全体計画

H25

H26

H27

H28

H29

H30

H31

H32

H33~

ひずみ集
中帯P J
(H19-
24)

日本海
検討会
津波断
層モデ
ル公表

津波防災地域
づくり法に基
づいた道府県
の津波浸水想
定・被害想定

北海道
(2) 津波波源モデル・断層モデルの構築
新潟
九州
(地域研究会を6回開催)

恒常的な
地震・津
波防災地
域研究会

災害対応
能力の向
上

(西日本・東日本)

(全国)

広域合同研究会

1-1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

1-2 沿岸防災手法の工学的評価

情報提供



意見交換



ワークショップ



- 情報共有
- 正しい理解
- 適切な対策
- 普及促進

地域研究会 開催の留意事項



(前回運営委員会での質問・指摘事項を踏まえ)

① 担当者の人事異動による情報の継続性確保・・・知識の継続・継承

- 過去の地域研究会開催概要 → 地域研究会内で情報を継続・共有
- 他の地域の開催状況 → 地域研究会間で情報を共有
 - 共有できる情報（課題、悩み、対策等）
 - 共有の方法：開催概要（主な意見等）を公開・共有（ex. webを活用）

② 恒常的連携体制の継続性確保・・・組織的に継続させる仕組みを構築

- 地域の主体性を尊重
 - 地域の主体と企画（内容・参集範囲・時期等）について事前打合せ
 - 地域の研究者の継続的協力
- 顔の見える関係構築

★ 目指すべき方向性

- 本プロジェクトの成果を、地域ごとに分かり易く伝達し、情報を共有
- 自治体を通じて市民の防災意識の向上を図る

平成28年度 進捗状況・予定



●地震・津波防災広域合同研究会（全国）

テーマ 津波防災

開催月日 平成28年4月22日

講演-1 「日本列島の津波発生リスク」

（講師：佐藤比呂志 東京大学地震研究所 教授）

内 容 講演-2 「地震避難と津波避難」

（講師：関谷 直也 東京大学大学院情報学環

総合防災情報研究センター 特任准教授）

出席機関

国

国関係機関
津波防災担当者

都道府県
津波防災担当者

備 考

国土交通省水管理・国土保全局海岸室、河川環境課水防企画室主催の「平成28年度 津波防災に係る意見交換会（全国会議）」に併せて、同会議との合同開催とした。



平成28年度 進捗状況・予定



●第4回 北海道地域研究会

テーマ 北海道の津波防災

開催月日 平成29年1月下旬（予定）

内 容

第一部 講演「地震避難と津波避難（仮題）」
（講師：関谷 直也 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 特任准教授）

**第二部 ワークショップ「地震避難対策と津波避難対策
～（市町村が）今できること、これからやること～（仮題）」**
（ファシリテータ：定池 祐季 氏 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 特任助教）
（コメンテーター：谷岡勇市郎 氏 北海道大学大学院理学研究院 教授）
（コメンテーター：関谷 直也 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 特任准教授）

出席機関

道

開発局

市町村

気象台

研究者

地域防災

備 考

第一部は「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」構成員に公開
第二部は道内沿海市町村の防災担当者を主な対象

平成28年度 進捗状況・予定



●第4回 秋田県地震・津波防災地域研究会

テーマ 秋田県の津波防災

開催月日 平成28年7月6日

内 容
第一部 報告「秋田県の津波浸水想定について」
(秋田県 総務部 総合防災課)
第二部 意見交換「秋田県の新たな津波浸水想定への対応
～各機関が講ずべき対策に向けて～」

出席機関

県

市町村

消防機関

地整

気象台

ライライ

研究者



平成28年度 進捗状況・予定



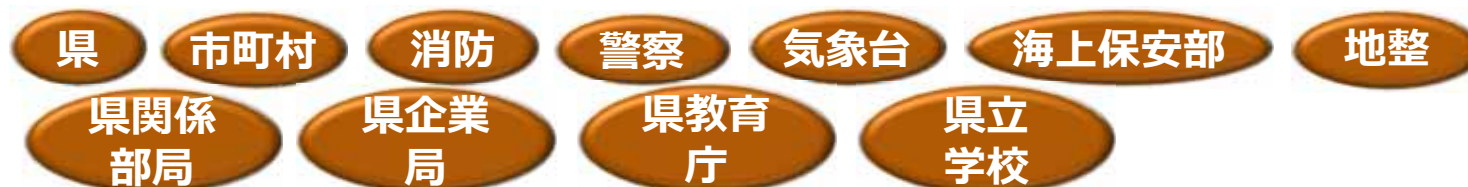
●第4回 山形県地震・津波防災地域研究会

テーマ 山形県の津波防災

開催月日 平成28年5月26日

内 容
第一部 津波浸水想定・被害想定説明会
(山形県エネルギー部 危機管理・くらし安心局 危機管理課)
第二部 意見交換「山形県の新たな津波浸水想定・被害想定への対応
～各機関が講ずべき対策に向けて～」

出席機関



備 考

既存組織の庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会津波対策部会と共催
第一部、第二部ともプレス公開



平成28年度 進捗状況・予定



●第5回 新潟県地震・津波防災地域研究会

テーマ 新潟県の津波防災

開催月日 平成28年11月（予定）

内 容

第一部 新潟県津波浸水想定結果の説明
（新潟県 防災局 防災企画課）

第二部 意見交換「新潟県の新たな津波浸水想定への対応
～各機関が講ずべき対策に向けて～」

出席機関

県

市町村

地整

気象台

研究者

備 考 第一部はプレス公開

平成28年度 進捗状況・予定

●第4回 富山県地震・津波防災地域研究会

テーマ 富山県の地域防災力

開催月日 平成28年10月28日

第一部 地域防災フォーラム「みんなで学ぼう！地域の防災力」
講演-1 「地域から始める防災まちづくりの基本
～地区防災計画のすすめ～」
(加藤 孝明 氏 東京大学生産技術研究所 准教授)
講演-2 「市民が取り組む富山の防災～これまでとこれから～」
(大西 宏治 氏 富山大学人文学部 准教授)

第二部 防災関係者意見交換会「富山の地域防災力向上に向けて
～熊本地震から分かったこと～」

出席機関

県	市町村	消防機関	地整	気象台	海上保安部
ライフライン	地域防災	研究者	防災士	防災関係者	
			自主防災組織	一般県民	

備考

※第一部は富山県と共催、富山県内市町村の後援とし、一般公開、プレス公開
※第二部は地域研究会構成機関を対象（内陸市町村にも拡大）

平成28年度 進捗状況・予定



●第4回 福岡県地震・津波防災地域研究会

テーマ 地震災害への備え～熊本地震の経験を踏まえて～

開催月日 平成28年11月28日

内 容

第一部 話題提供「西南日本における地震・津波活動リスク
～北部九州を中心として～（仮題）」
（講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授）

第二部 意見交換「地震災害への備え～熊本地震での支援活動を通じた
経験と教訓～」

出席機関

福岡県

市町村

佐賀県

長崎県

地整

気象台

研究者

備 考

※佐賀県・長崎県が参加し、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせる

平成28年度 参加予定機関



地域	国			道県		市町村	消防 警察	地域 防災	マイワシ 事業者	研究者
	地整・ 開発局	出先 機関	気象台	関係 部局	出先 機関					
北海道		-	○		○	○	-	(○) ¹	-	
秋田県	○	○	○		-	○	○	-	○	
山形県	-	-	○			○	○	-	-	-
新潟県		-	○		-	○	-	-	-	○
富山県	○	○	○		○	○	-	○ ※2	○	○
福岡県※3		-	○		-	○	-	-	-	
広域合同※4	○			○						

：事前協議を含め主体となった機関

1：北海道地域研究会は第一部を「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」構成員にも公開、第二部は道内沿海市町村の防災担当者を主な対象

2：富山県地域研究会は第一部を一般公開、第二部は地域研究会構成機関を対象（内陸市町村にも拡大）

3：福岡県地域研究会には佐賀県・長崎県が参加し、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせる

4：広域合同研究会は国土交通省水管理・国土保全局海岸室、河川環境課水防企画室主催の「平成28年度 津波防災に係る意見交換会（全国会議）」に併せ、同会議と合同開催